



Cisco Unity Express ソフトウェアの設定

Cisco CallManager Express と Cisco Unity Express のすべてのハードウェアおよび Cisco CallManager Express ソフトウェアのインストールを完了したら、Cisco Unity Express ソフトウェアを設定します。この章では、次の情報と手順について説明します。

- [前提条件 \(P.22\)](#)
- [新規 Cisco Unity Express ソフトウェア パッケージの設定 \(P.25\)](#)
 - [Cisco Unity Express ソフトウェアへの IP 接続のアクティブ化 \(P.25\)](#)
 - [EXEC モードと設定モード \(P.27\)](#)
 - [コマンド環境の開始 \(P.27\)](#)
 - [Cisco Unity Express のハードウェアおよびソフトウェアのバージョンの表示 \(P.28\)](#)
 - [コマンド環境の終了 \(P.28\)](#)

前提条件

Cisco Unity Express の設定を開始する前に、Cisco CallManager Express (CME) システムをインストールしておく必要があります。Cisco CME のインストールを実行しなかった、または現在実行していない場合は、インストールの担当者、またはその他のサポート担当者にお問い合わせして次の手順が完了しているかどうかを確認してください。

1. Cisco CME および Cisco Unity Express のハードウェアをすべてインストールし、機能を検証します。
 - a. 電話機を接続して Cisco CME ルータに登録します。
 - b. Cisco CME サーバに、Network Module (NM; ネットワーク モジュール) の設定をサポートする Cisco IOS Release 12.3(4)T 以降のリリースと Advanced Integration Module (AIM; 拡張統合モジュール) の設定をサポートする Cisco IOS Release 12.3(7)T 以降のリリースが構成されていることを確認します。
 - c. Cisco Unity Express NM または AIM を、Cisco CME がインストールされているルータにインストールします。
 - d. NM の場合は、Enable LED が点灯していることを確認します。



(注)

Cisco Unity Express モジュールが格納されているルータには、Uninterruptible Power Supply (UPS; 無停電電源) を接続することを強くお勧めします。信頼性の高い UPS ユニットを使用すると、ルータおよび Cisco Unity Express モジュールの運用を維持するための電力を継続的に得ることができます。電力消費は Cisco プラットフォームによって異なるため、ユニットのキャパシティおよび実行時間を考慮してください。UPS には、ルータに Cisco Unity Express を正しくシャットダウンさせてからルータの電源を切るシグナリング メカニズムが備えられている必要があります。

次の設定がルータに追加されている場合、Cisco IOS Release 12.3(4)T は、UPS デバイスへの自動切り替えをサポートします。

```
line aux 0
privilege level 15
modem Dialin
autocommand service-module service-engine slot/0 shutdown no-confirm
```

ここで *slot* は Cisco Unity Express モジュールのスロット番号です。

2. Cisco CME ソフトウェアをインストールし、機能を検証します。
 - a. Cisco CME 設定 Web ページにアクセスできることが必要です。
 - b. Cisco CME ルータ フラッシュ メモリに、Cisco Unity Express GUI の機能を制御する次のファイルがあることを確認します。
 - CiscoLogo.gif
 - Delete.gif
 - Plus.gif
 - Tab.gif
 - admin_user.html
 - admin_user.js
 - dom.js
 - downarrow.gif

```

- ephone_admin.html
- logohome.gif
- normal_user.html
- normal_user.js
- sxiconad.gif
- telephony_service.html
- uparrow.gif
- xml-test.html
- xml.template

```

- c. 次のパスを Cisco CME 設定モードで設定します。

```
Router(config)# ip http path flash:
```

show running-config コマンドを使用してパスを検証します。

- d. **service-engine** インターフェイス上に **ip unnumbered** コマンドを設定するには、Cisco IOS ソフトウェアのコマンドをルータに対して実行して、Cisco Unity Express モジュールへのスタティック ルートを作成します。次に例を示します。

```
ip route 10.3.6.128 255.255.255.255 Service-Engine1/0
```

この例では、10.3.6.128 は Cisco Unity Express モジュールの IP アドレスで、Service-Engine1/0 は Cisco Unity Express モジュールのホストであるルータ スロットです。

- e. SIP ダイアルピアが Cisco Unity Express モジュールを指すように設定されていること、G.711 U-law および DTMF リレーの SIP 通知が指定されていること、VAD がオフになっていることを確認します。次の例を参考にしてください。

```

dial-peer voice 6000 voip <----- SIP dial peer pointing to Cisco Unity Express
destination-pattern 6...
session protocol sipv2
dtmf-relay sip-notify
session target ipv4:10.3.6.128 <---- Cisco Unity Express IP address
codec g711ulaw
no vad

```

ダイヤルプランのサポートに適した数の SIP ダイアルピアを設定します。

- f. Cisco Unity Express と通信する FTP サーバは、パッシブ FTP 要求をサポートしている必要があります。この機能を FTP サーバに設定する方法については、FTP サーバのマニュアルを参照してください。
- g. Cisco CME Web 管理者に、たとえば、次の例のようなユーザ ID とパスワードが設定されていることを確認します。

```

telephony-service
.
.
.
web admin system name admin password user1

```

または、

```
web admin system name admin secret 5 encrypted-password
```



(注) 設定のために Cisco Unity Express グラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) を使用する場合は、Cisco CME インターフェイスに、管理者ユーザ ID をパスワードとともに設定します。GUI にこのユーザとしてログインする必要があります。Cisco CME に管理者ユーザが作成されていない場合、管理者は Cisco Unity Express GUI の初期化ウィザードを開始できません。Release 2.1 では、管理者はインストール手順の中で作成されます。

- h. 電話およびユーザを設定します。追加のユーザおよび電話は、後で Cisco Unity Express CLI コマンドまたは GUI オプションを使用して作成できます。CLI コマンドおよび GUI オプションでは、Cisco CME データベースに電話ユーザが作成されます。同期化 CLI コマンドまたは GUI オプションを使用して、Cisco Unity Express データベースにユーザおよび電話をコピーします。

次の例の `ephone-dn` および `ephone` コンフィギュレーションを使用して、電話およびユーザを手動で設定します。

```
ephone-dn 1 <---- ephone dn configuration for a user
  number 8004
  name User1
  call-forward busy 6900
  call-forward noan 6900 timeout 10
  !
  !
ephone-dn 20 <---- ephone dn configuration for a group
  number 8801
  name Salesgroup
  call-forward busy 6900
  call-forward noan 6900 timeout 10

ephone 1 <--- ephone configured for the ephone-dn configured above
  username "Salesgroup" password null
  mac-address 0009.B7F7.556A
  button 1:1 2:20 3:21 4:22 5:23
```

- i. メッセージ ウェイティング インジケータ (MWI) をオンおよびオフにした内線を設定します。電話の内線番号の長さを示すワイルドカード文字 (.) を DN に追加します。Cisco Unity Express では、初期化ウィザード中に Cisco CallManager Express から MWI DN をインポートする際に、これらのワイルドカードが必要です。これらのワイルドカード文字が Cisco CallManager Express で設定されていない場合、DN は MWI 内線フィールドで使用可能な選択肢として表示されません。次の例を参考にしてください。

```
ephone-dn 30 <---- ephone-dn configurations for MWI on
  number 8000.... <---- valid MWI DN 4-digit extension
  mwi on
  !
  !
ephone-dn 31 <---- ephone-dn configurations for MWI off
  number 8001.... <---- valid MWI DN 4-digit extension
  mwi off
  !
  !
  !
```

3. (オプション) Cisco CME インターフェイスにユーザが作成されていない場合、すべてのユーザ、グループ、およびユーザとグループの内線番号のリストを作成します。このリストにより、多くのユーザと内線番号を簡単に設定できます。



- (注) ボイスメール メッセージを受信するユーザごとに、プライマリ内線番号を指定します。Cisco Unity Express は、E.164 番号に対しては MWI をアクティブにしません。

4. (オプション) 自動受付アプリケーションのオプション初期メッセージを作成します。自動受付には、デフォルトの初期メッセージが用意されています。別のメッセージを .wav ファイルで作成し、そのファイルを自動受付の設定の一部としてインストールできます。詳細については、P.73 の「自動受付グリーンティングまたはプロンプト ファイルの録音」を参照してください。
5. (オプション) ビジネスの要件に合わせて自動受付プロンプトのフローをカスタマイズします。詳細については、P.76 の「自動受付スクリプトの設定」を参照してください。
6. (必須) Cisco Unity Express モジュールの IP アドレスを記録します。システムを構成するために GUI にアクセスするには、この IP アドレスが必要です。

新規 Cisco Unity Express ソフトウェアパッケージの設定

Cisco Unity Express を注文すると、Cisco Unity Express ソフトウェアと購入済みライセンスがモジュールにインストールされた状態で工場から出荷されます。予備のモジュールも、ソフトウェアとライセンスがインストールされた状態で付属します。

新規にインストールした Cisco Unity Express を設定するには、次の手順を実行する必要があります。

1. モジュールとルータ間の IP アドレス指定を設定します。P.25 の「Cisco Unity Express ソフトウェアへの IP 接続のアクティブ化」を参照してください。
2. Cisco Unity Express ソフトウェアの設定を開始します。P.29 の「設定タスク」を参照してください。

Cisco Unity Express ソフトウェアへの IP 接続のアクティブ化

Cisco Unity Express モジュールをインストールしたら、Cisco CallManager Express と Cisco Unity Express アプリケーション間の IP 通信リンクをアクティブにします。

前提条件

ソフトウェアをアクティブにするために必要な情報は次のとおりです。

- Cisco Unity Express のホストである Cisco IOS ルータ上の Cisco Unity Express モジュールのスロット番号とユニット番号。
- Cisco Unity Express のホストである Cisco IOS ルータの IP アドレスとサブネットマスク、または unnumbered インターフェイスのタイプと番号。
- Cisco Unity Express モジュールの IP アドレス。この IP アドレスは、Cisco Unity Express のホストである Cisco IOS ルータと同じサブネット上にある必要があります。
- Cisco Unity Express ルータのデフォルトゲートウェイの IP アドレス。この IP アドレスは、Cisco Unity Express のホストである Cisco IOS ルータと同じ IP アドレスである必要があります。

概略手順

1. **interface Service-Engine slot/unit**
2. **ip address router-ip-addr subnet-mask**
または、
ip unnumbered type number
3. **service-module ip address cue-side-ip-addr subnet-mask**
4. **service-module ip default-gateway gw-ip-addr**
5. **exit**

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<code>interface Service-Engine slot/unit</code> Router(config)# interface Service-Engine 2/0	インターフェイス設定モードを開始します。
ステップ 2	<code>ip address router-ipaddr subnet-mask</code> Router(config-if)# ip address 172.16.231.195 255.255.0.0 または、 Router(config-if)# ip unnumbered type number Router(config-if)# ip unnumbered FastEthernet 0/0	Cisco Unity Express のホストである Cisco IOS ルータの IP アドレスとサブネットを指定します。 Cisco Unity Express のホストである Cisco IOS ルータのインターフェイス タイプと番号を指定します。
ステップ 3	<code>service-module ip address cue-side-ipaddr subnet-mask</code> Router(config)# service-module ip address 172.16.231.190 255.255.0.0	Cisco Unity Express モジュール インターフェイスの IP アドレスを指定します。この IP アドレスは、Cisco Unity Express のホストである Cisco IOS ルータと同じサブネット上にある必要があります。
ステップ 4	<code>service-module ip default-gateway gw-ipaddr</code> Router(config)# service-module ip default-gateway 172.16.231.195	Cisco Unity Express のホストである Cisco IOS ルータの IP アドレスを指定します。
ステップ 5	<code>exit</code> Router(config-if)# exit	インターフェイス設定モードを終了します。

例

次の例は、IP 接続をアクティブにする手順を示しています。

```
Router(config)# interface Service-Engine 1/0
Router(config-if)# ip address 10.0.0.9 255.0.0.0
Router(config-if)# service-module ip address 10.0.0.10 255.0.0.0
Router(config-if)# service-module ip default-gateway 10.0.100.10
Router(config-if)# exit
```

次の作業

Cisco Unity Express モジュールへの接続を設定したら、Cisco Unity Express コマンド環境を開始し、アプリケーションの設定を開始します。P.27 の「コマンド環境の開始」を参照してください。

EXEC モードと設定モード

Cisco Unity Express コマンドの EXEC モードおよび設定モードは、Cisco IOS CLI コマンドの EXEC モードおよび設定モードと同様に動作します。ただし、Cisco Unity Express EXEC モードでは一部のパラメータを設定または変更できますが、Cisco IOS EXEC モードでは許可されていません。この Cisco Unity Express 機能を使用して、設定したパラメータをフラッシュメモリに保存できます。フラッシュメモリへの保存により、ディスククラッシュなどの深刻な障害が発生した場合に利用できる最小限の情報がシステムに保持されます。このマニュアルの各コマンドの説明では、コマンドモードを示しています。

コマンド環境の開始

Cisco Unity Express ソフトウェアをインストールし、アクティブにしたら、次の手順を実行してコマンド環境を開始します。

前提条件

Cisco Unity Express ソフトウェアの新規インストールの場合は、この手順を開始する前に、[P.22](#)の「前提条件」および [P.25](#)の「Cisco Unity Express ソフトウェアへの IP 接続のアクティブ化」を参照してください。

コマンド環境の開始に必要な情報は次のとおりです。

- Cisco Unity Express モジュールが格納されているルータの IP アドレス
- ルータにログインするためのユーザ名とパスワード
- モジュールのスロット番号

概略手順

1. telnet セッションを開きます。
2. `telnet ip-address`
3. ルータのユーザ ID とパスワードを入力します。
4. `service-module service-engine slot/port session`
5. `enable`

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	telnet セッションを開きます。	DOS ウィンドウ、セキュア シェル、またはソフトウェアエミュレーション ツール (Reflection など) を使用します。
ステップ 2	<code>telnet ip-address</code>	Cisco CallManager ルータの IP アドレスを指定します。
ステップ 3	<pre>C:\>telnet 172.16.231.195 Username: Password:</pre>	ルータに対するユーザ ID とパスワードを入力します。

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 4	<pre>service-module service-engine slot/port session Router# service-module service-engine 1/0 session</pre>	<p>スロットとポートに配置されているモジュールを使用して、Cisco Unity Express コマンド環境を開始します。プロンプトが「se」に変わり、Cisco Unity Express モジュールの IP アドレスが表示されます。</p> <p>メッセージ 「Trying ip-address slot/port ...Connection refused by remote host」が表示された場合は、次のコマンドを入力します。</p> <pre>service-module service-engine slot/port session clear</pre> <p>次に、ステップ 4 を再実行します。</p>
ステップ 5	<pre>se-10-0-0-0# enable se-10-0-0-0# enable</pre>	<p>Cisco Unity Express EXEC モードを開始します。これで、設定タスクを開始できます。</p>

次の作業

[P.29 の「設定タスク」](#) を参照してください。

Cisco Unity Express のハードウェアおよびソフトウェアのバージョンの表示

インストールされている Cisco Unity Express ハードウェア コンポーネントのバージョンとシリアル番号を表示するには、**show version** コマンドを使用します。

インストールされている Cisco Unity Express ソフトウェア コンポーネントのバージョンを表示するには、**show software versions** コマンドを使用します。

コマンド環境の終了

Cisco Unity Express Release 2.1 コマンド環境を終了するには、次の手順を実行します。

1. Cisco Unity Express EXEC モードに戻ります。
2. **CTRL** キー、**SHIFT** キー、**6** キーを同時に押してから、小文字の **x** を入力します。



(注) Cisco IOS Release 12.3(11)T 以降の場合は、代わりに **EXIT** コマンドを使用します。

ルータ プロンプトが表示されます。